

講座
A2

京田辺キャンパス 知真館
2号館101教室

生命医科学部
医情報学科

開催日時 7.27(土) 12:50~14:20 こばやし こうた 小林 耕太 教授

脳が音を創って聞く仕組みを知り、 脳補聴器を開発する

私達が普段聞いている音は、耳から入力された情報を脳が解釈した結果です。音そのものを聞いているわけではありません。脳の働きにより、音情報が削除や修飾を受けたその成果を、音として体験しているのです。

この音を聞く仕組みを利用して脳補聴器を開発する研究について紹介します。

生命医科学とは、ヒト、動物、細胞、生体分子などを対象に生命の仕組みを明らかにし、その成果を医療に応用することを目指すものです。脳補聴器はそのような研究の1つの例になります。